

平成 28 年度 当会実施事業に関するアンケート調査の結果について

一般社団法人 日本船用工業会

当工業会は、会員企業に対して恒例の標記調査を実施し、その結果を別紙のとおり取りまとめた。(調査対象 251 社、回答 138 社。回答率 55.0%) 概要は以下のとおり。

### 1. 総体的業況等

- ・「変わらない」との回答が最も多かったが、昨年比で「良い」、「変わらない」が減少し、「悪い」「大変悪い」が増加している。また、昨年の「大変良い」(3 社)は今回の調査ではゼロであった。受注、売上高、営業利益についても、昨年比で「増加」「横ばい」が減少し、「減少」が増えている。
- ・当面の課題については、「仕事量の確保」が最も多く、次いで「コストダウン・生産性向上」、「技術開発・製品開発」、「人材確保・育成」と続いている。

### 2. 技術開発

- ・技術開発の方向性では「環境に優しい機器の開発」が最も多く、次いで「省エネ機器の開発」、「低価格製品の開発」、「ユーザーニーズ」となっている。また、必要とする技術開発体制の支援方法では「ユーザーとの連携」との回答が最も多く、「大学や研究機関との連携」「同業他社や他業種との連携」が続いている。

### 3. 人材確保・養成

- ・昨年と同様「中途採用」が「新卒者採用」を上回っている。新卒の採用状況では、「ほぼ求人どおり」が最も多く、次いで「求人していない」、「求人に対する採用実績僅か」の順であった。人材の確保状況では技能者、技術者ともに、「やや不足」との回答が最も多かった。
- ・外国人実習生の受け入れでは、「団体監理型」の受け入れとの回答が「企業単独型」より多かった。実習生の国籍では、「ベトナム」、「フィリピン」、「インドネシア」「中国」の順が多い。今後の計画でも「ベトナム」との回答が最も多く、「フィリピン」、「ミャンマー」と続いている。

### 4. グローバル展開

- ・今後有望とみられる市場は「インドネシア」との回答が最も多く(前回 2 位)、次いで「シンガポール」、「中国」(1 位)、「ベトナム」(5 位)の順となっている。
- ・注目している造船市場に関する問いでは、「ガス船」との回答が最も多く、次いで「コンテナ船」、「フェリー」、「タンカー」、「オフショア」「バルクキャリアー」と続いている。
- ・海外市場開拓に関して必要とする情報では、「船主・造船所など現地企業の概要」との回答が最も多く、次いで「最新の現地海事産業情報」、「政策や規制動向」であった。
- ・当会の海外関係事業に期待することについては、「市場動向など情報提供」が最も多く、次いで「海外顧客訪問・視察の実施」、「海外セミナーの実施」、「新規展示会への参加」となっている。

### 5. オフショア

- ・参入への障壁については、「社内体制」との回答が最多で、次いで「海外拠点の設置」、「製品の改良」、「API 等ルールへの対応」「実証実験」が続いている。また、当会へ期待する支援については、「市場動向などの情報提供」に次いで「顧客との対話の機会の提供」が多かった。

以上

平成28年度 当会実施事業に関するアンケートの結果について

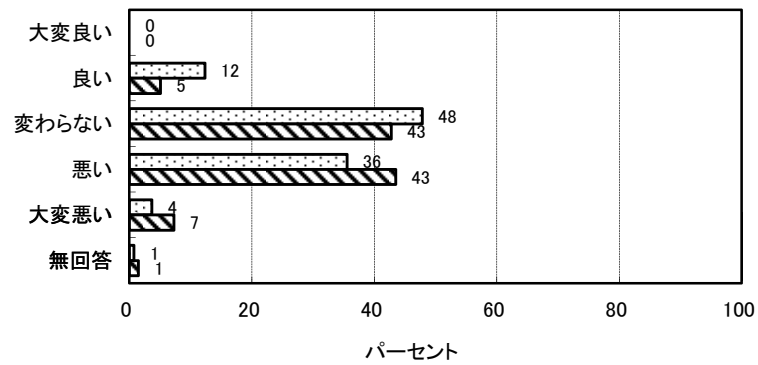
一般社団法人 日本船用工業会

回答数：138社(251社中)

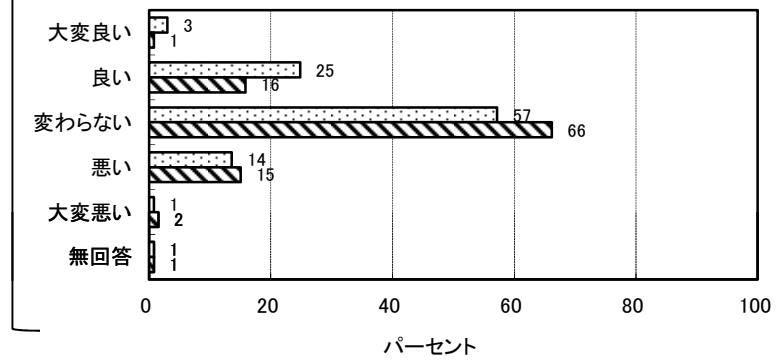
1. 事業環境

本年度  来年度 

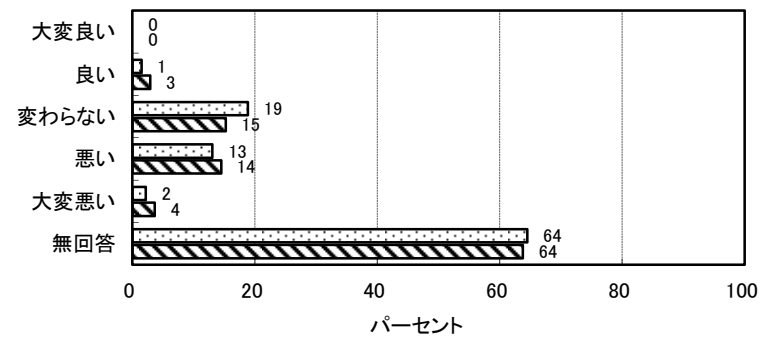
1-1 総体的業況



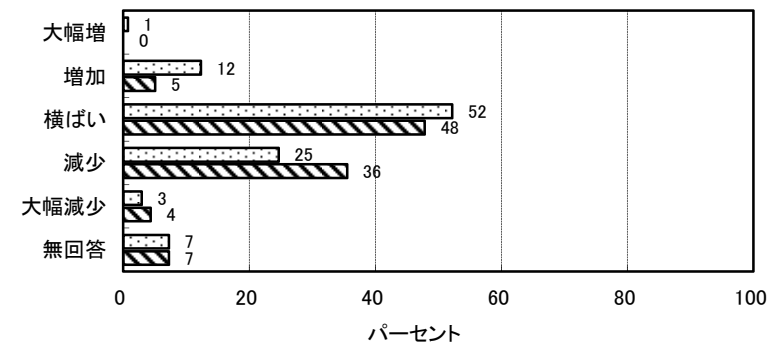
【参考】平成27年度 総体的業況



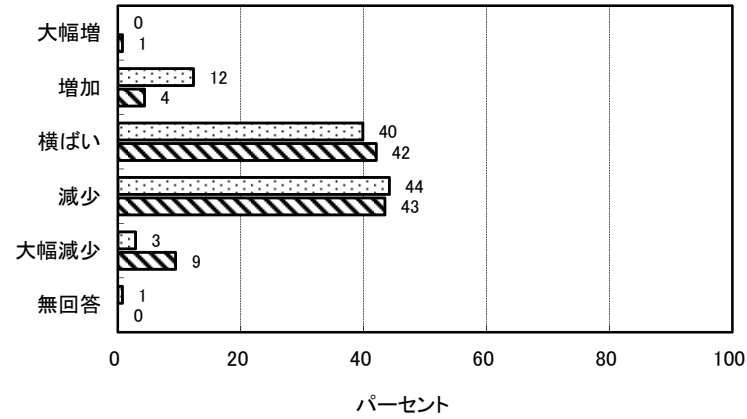
1-2 海外進出企業の業況



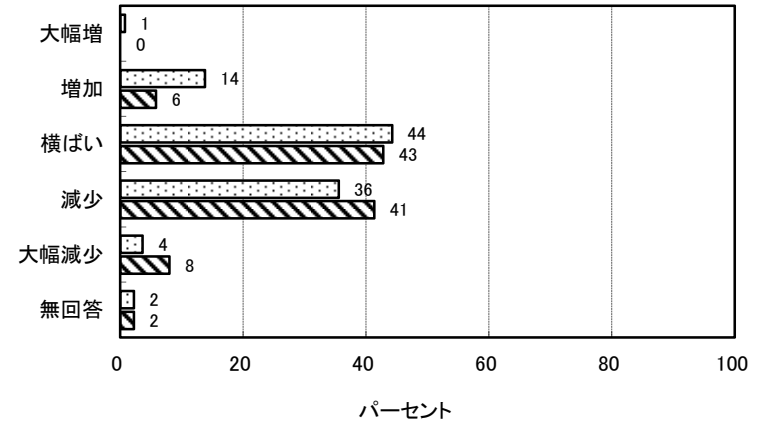
1-3 操業度



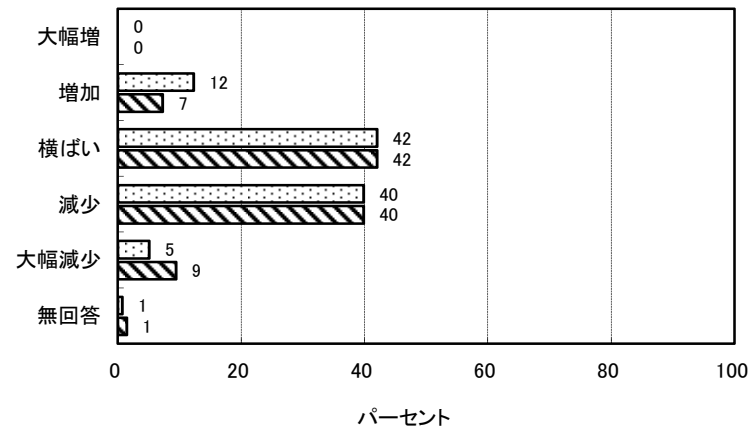
1-4 受注



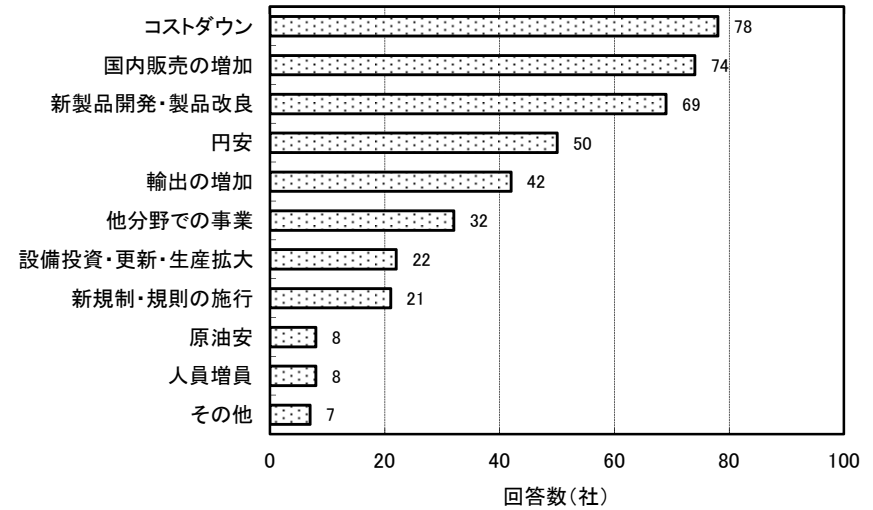
1-5 売上高



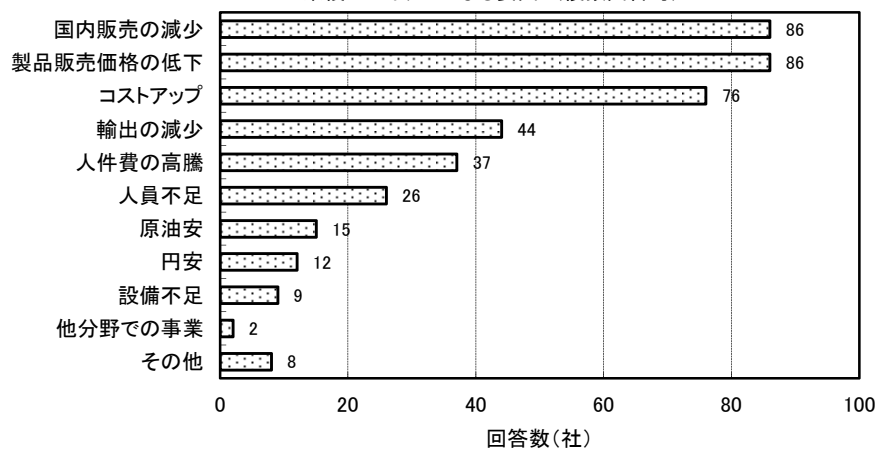
1-6 営業利益



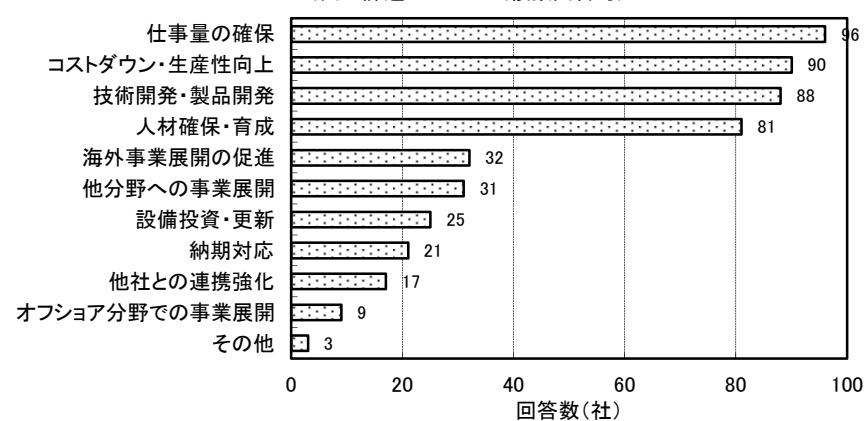
1-7 業績にプラスとなる要因 (複数回答可)



1-8 業績にマイナスとなる要因（複数回答可）

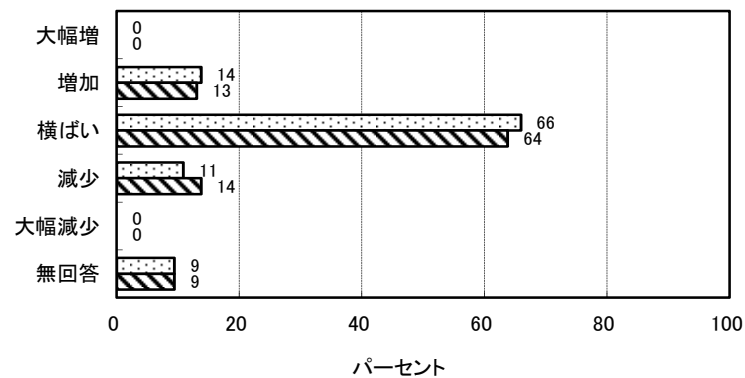


1-9 当面の課題について（複数回答可）

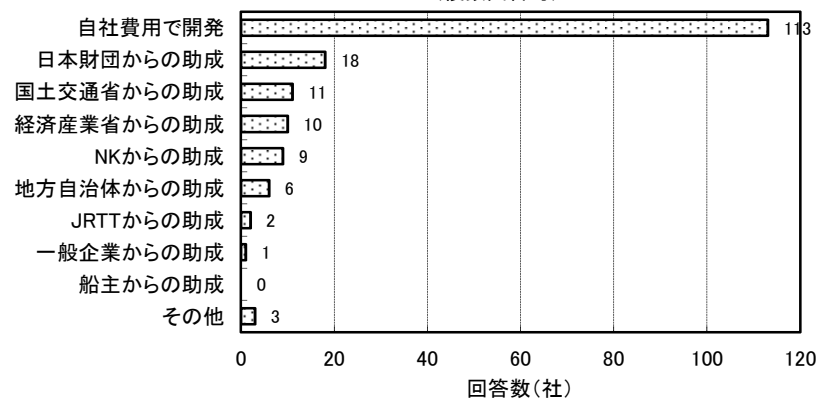


## 2. 技術開発関連

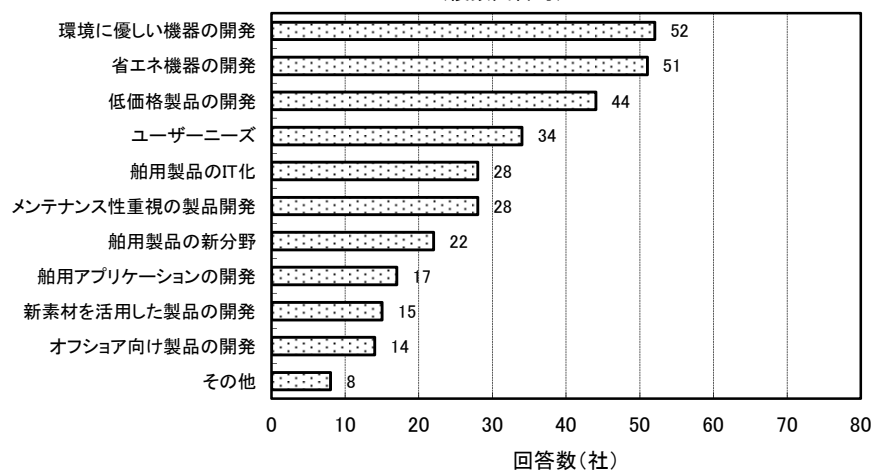
2-1 研究開発投資



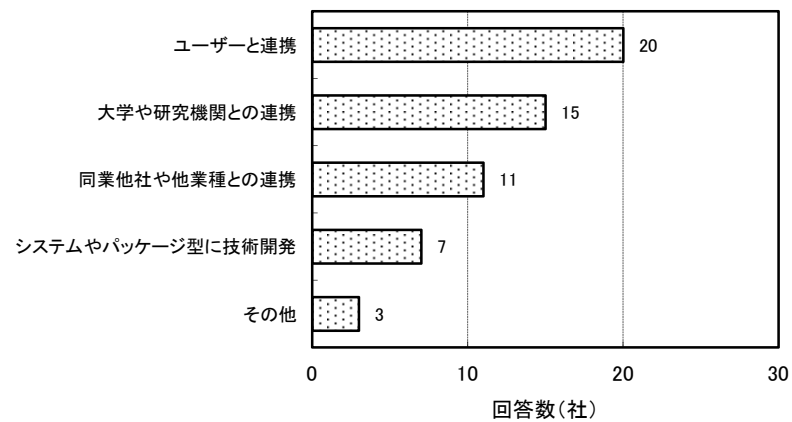
2-2 過去5年の技術開発資金の調達方法（複数回答可）



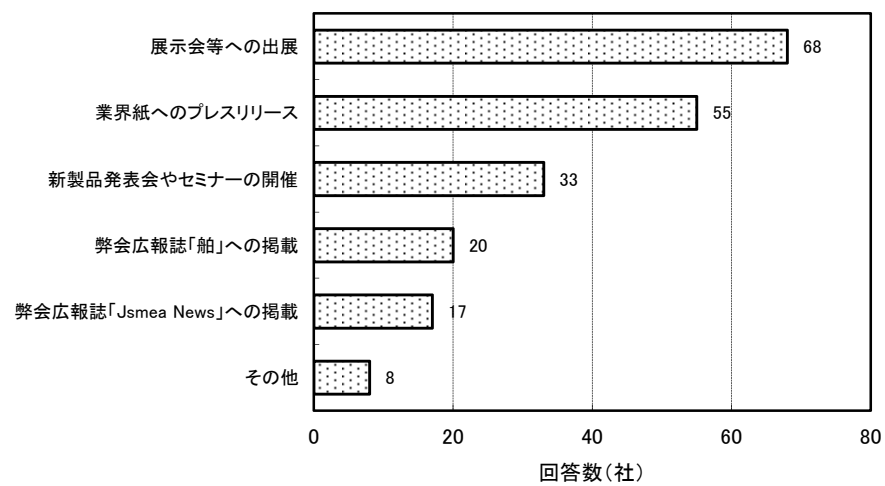
2-3 現在の技術開発の方向性  
(複数回答可)




2-4 必要とする技術開発体制の支援方法  
(複数回答可)




2-5 必要とする開発した技術や製品のPR活動の方法  
(複数回答可)

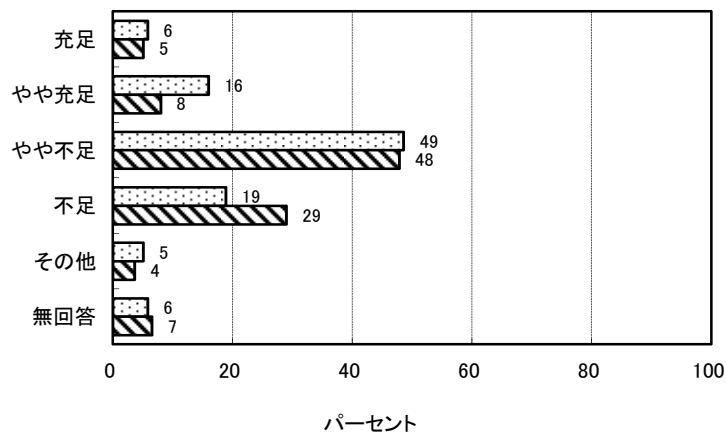


### 3. 人材確保・養成関係

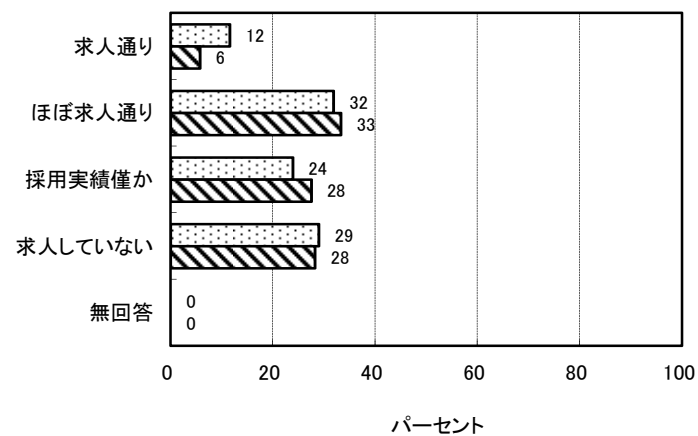
技能工等の技能者 

設計・開発等の技術者 

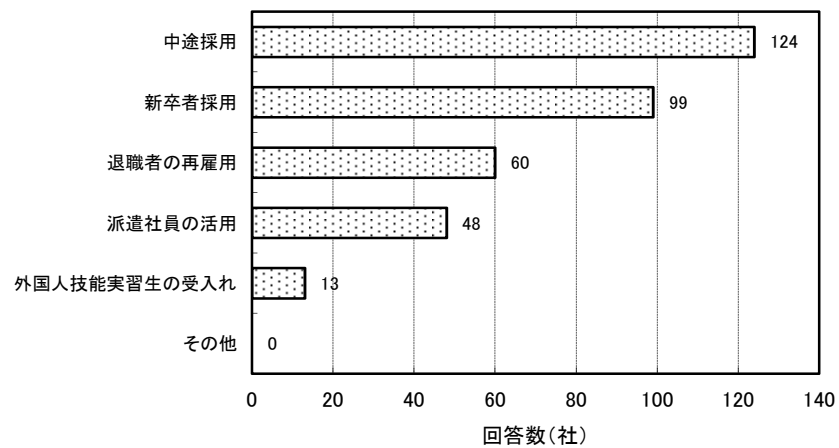
3-1 人材の確保状況



3-2 新卒の採用状況



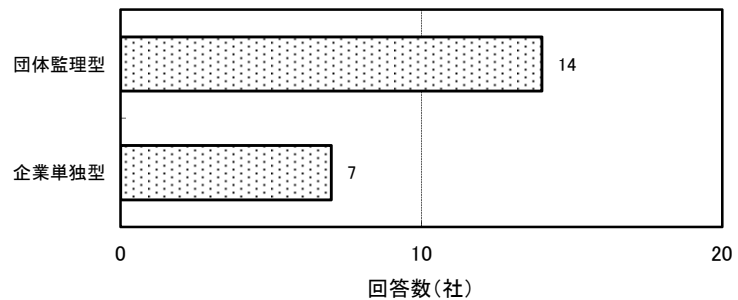
3-3 人材確保の方法（複数回答可）



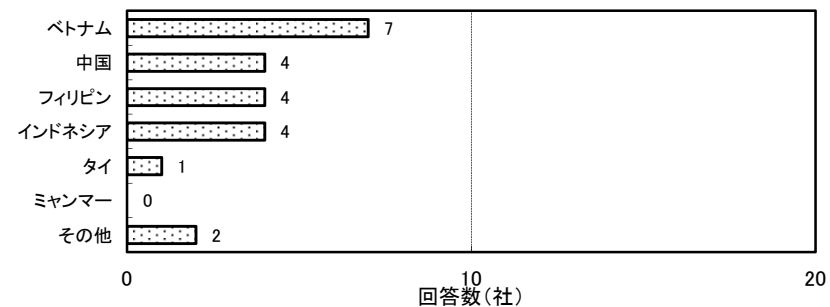
## 4. 外国人技能実習生

### ①外国人技能実習生を受け入れている場合

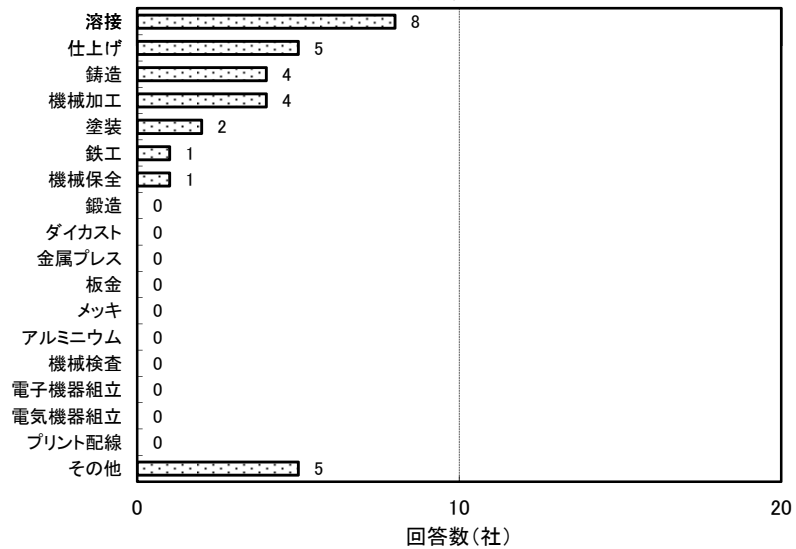
4-1 受け入れ形態



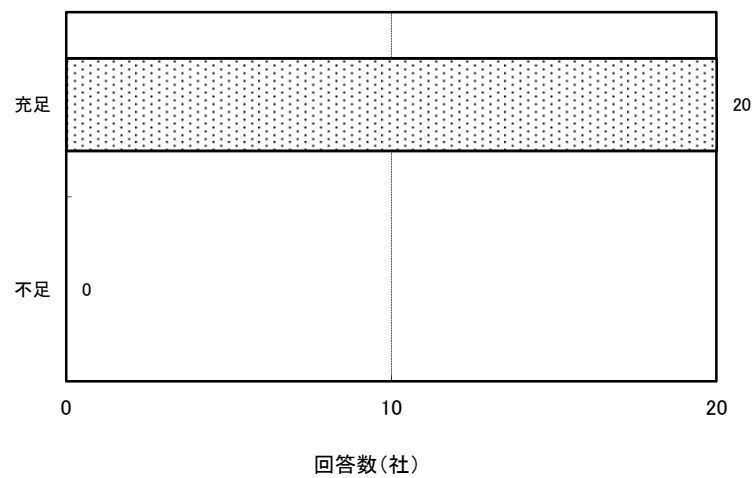
4-2 受け入れ実習生の国籍(複数回答可)

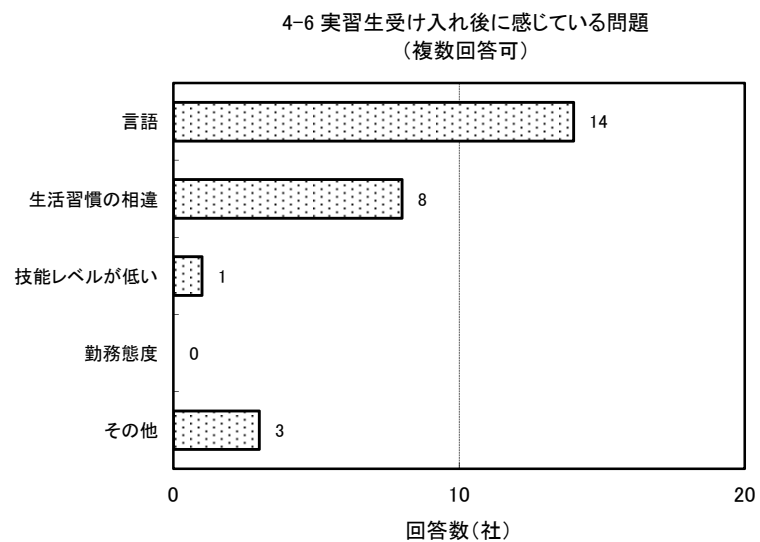
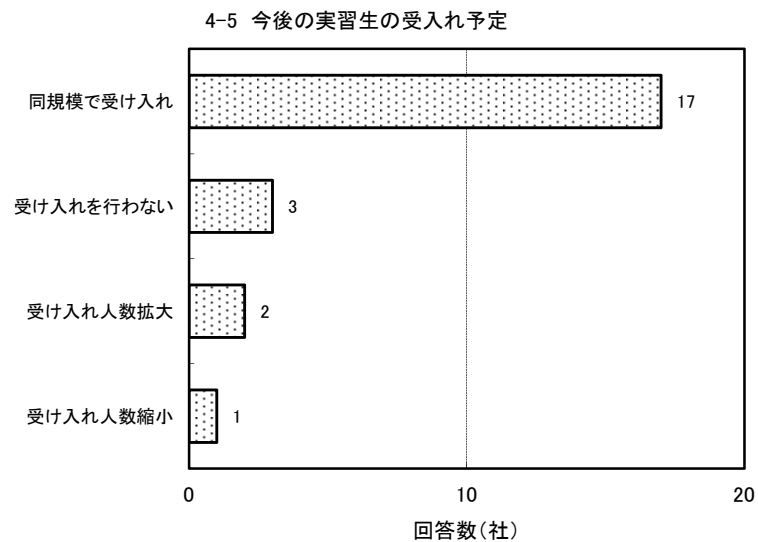


4-3 受け入れ職種(複数回答可)

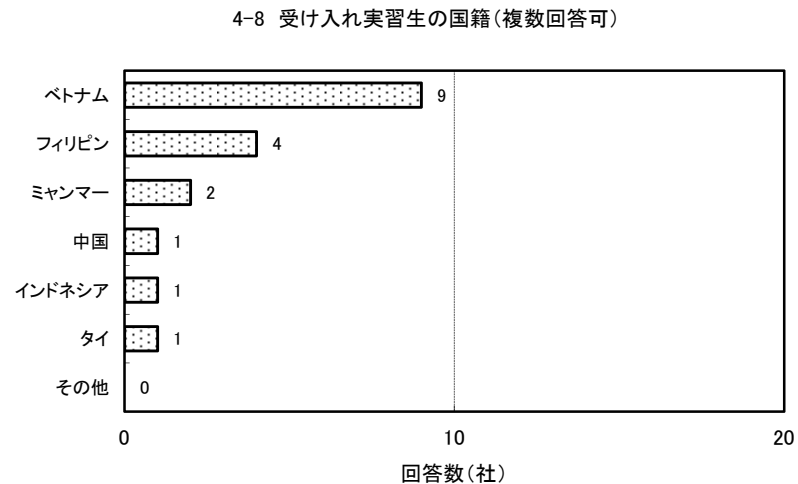
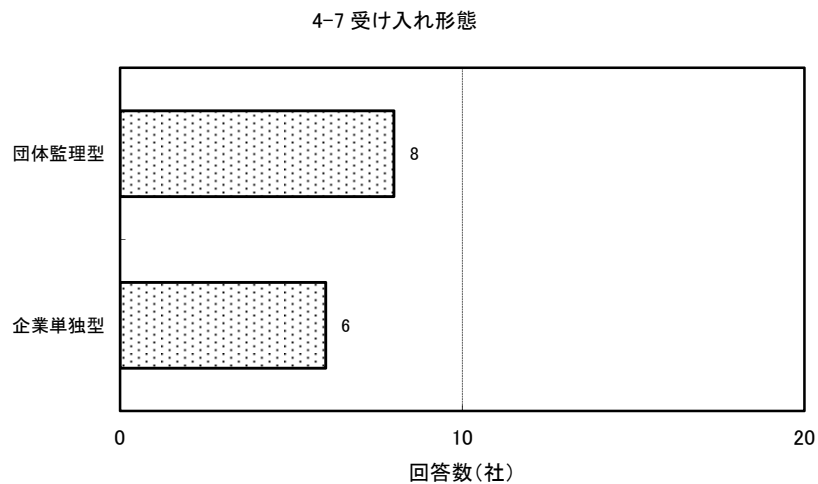


4-4 実習生の確保状況



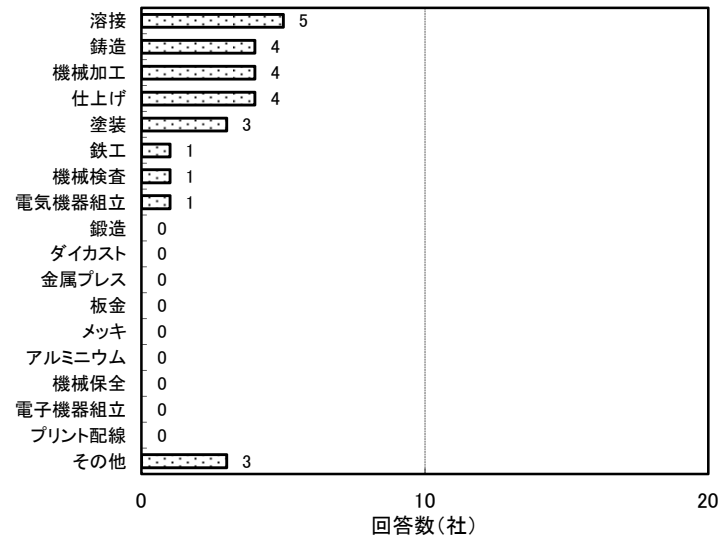


## ②外国人技能実習生を受け入れを計画または検討している場合

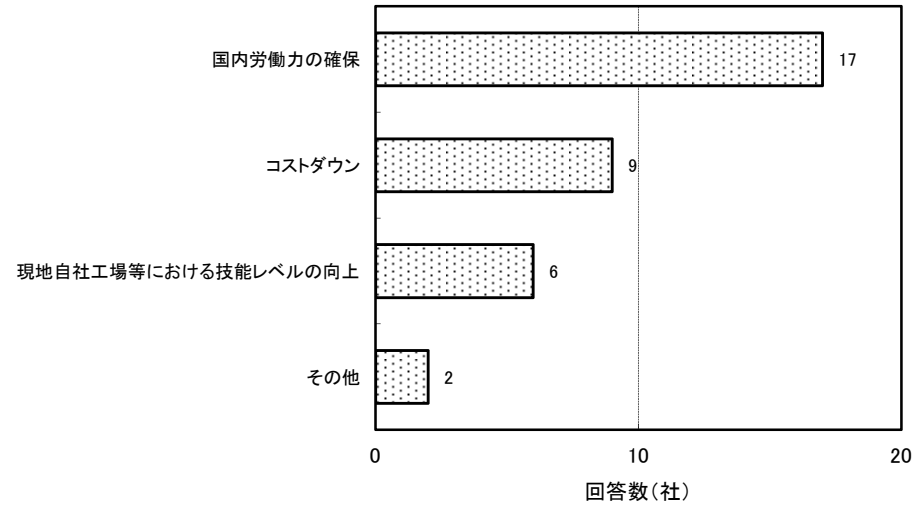




4-9 受け入れ職種(複数回答可)

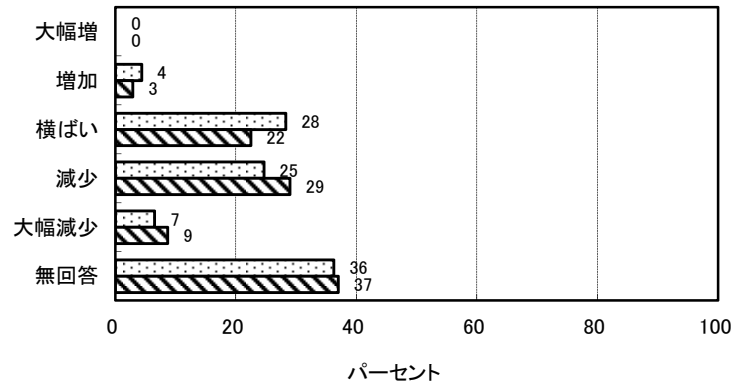


4-10 実習生を受け入れる目的(複数回答可)

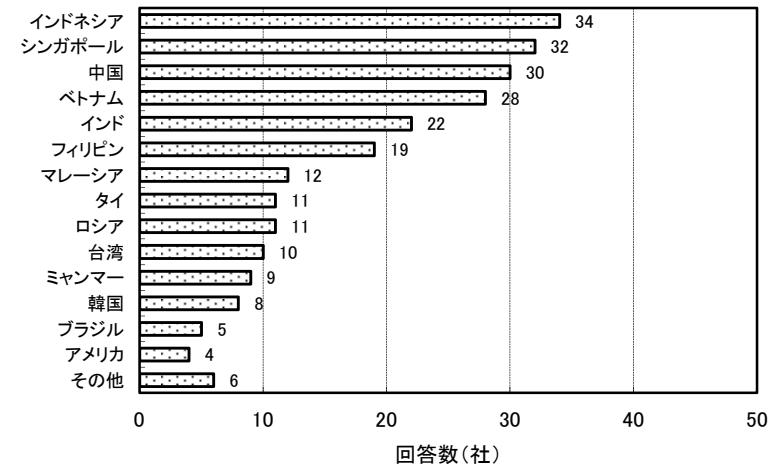


## 5. グローバル展開関係

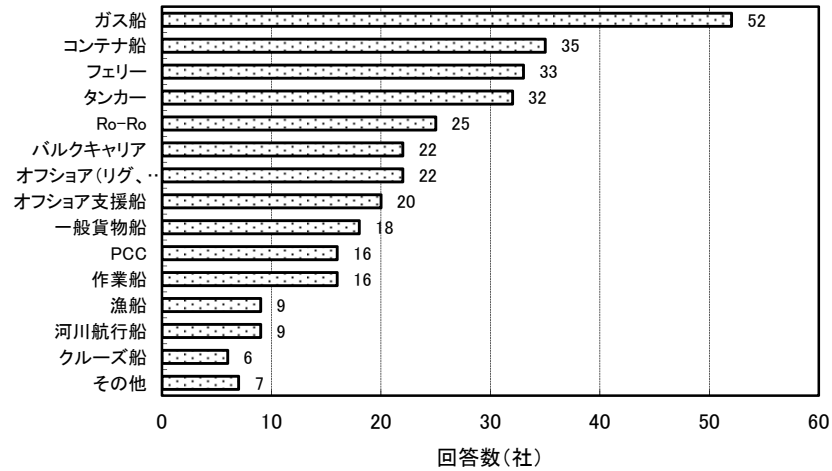
5-1 製品輸出



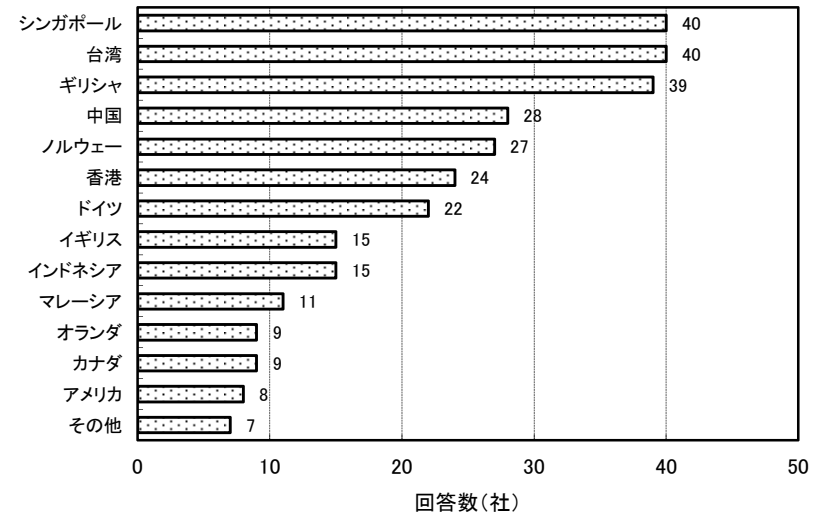
5-2 今後有望と見ている市場(複数回答可)



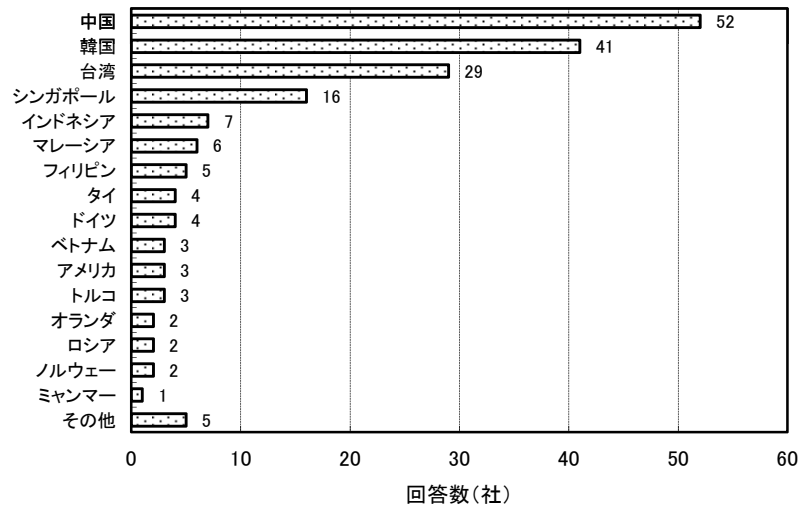
5-3 注目している新造船市場（複数回答可）



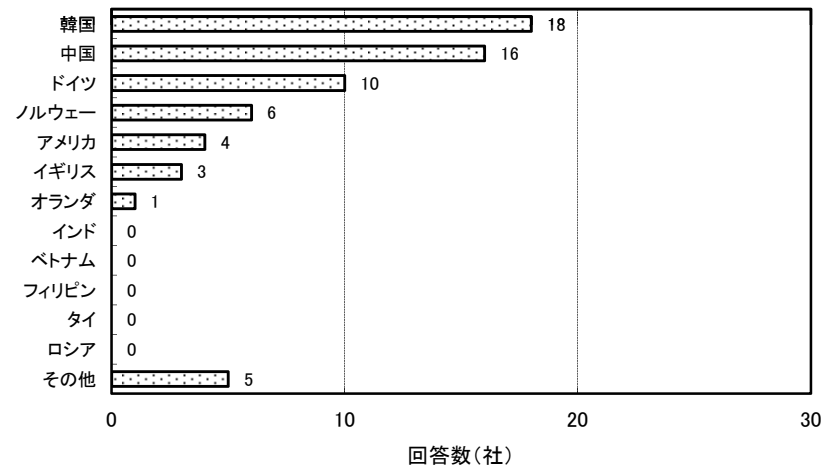
5-4 「一般商船・船主」の主な顧客先（複数回答可）



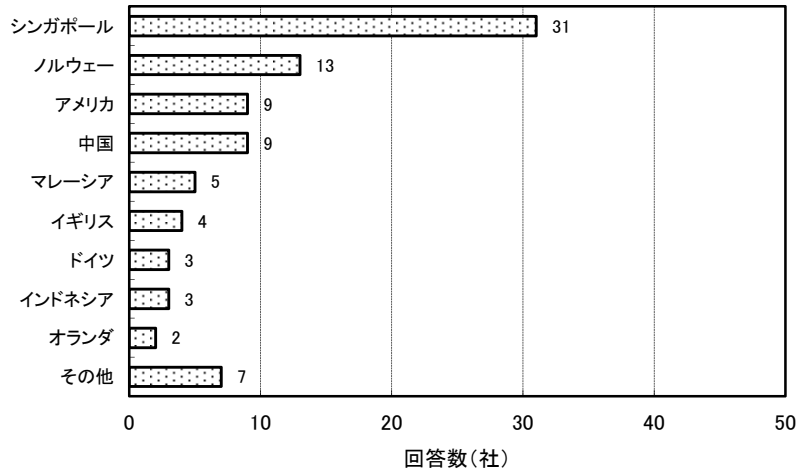
5-5 「造船所」の主な顧客先（複数回答可）



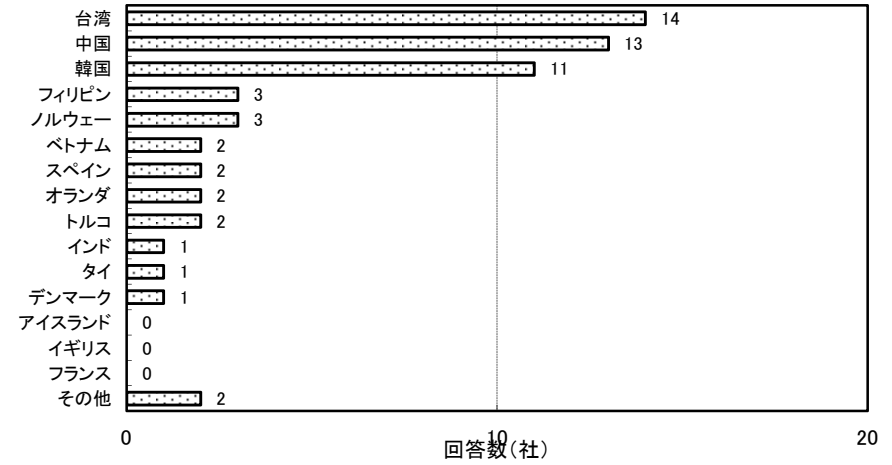
5-6 「機器メーカー」の主な顧客先（複数回答可）



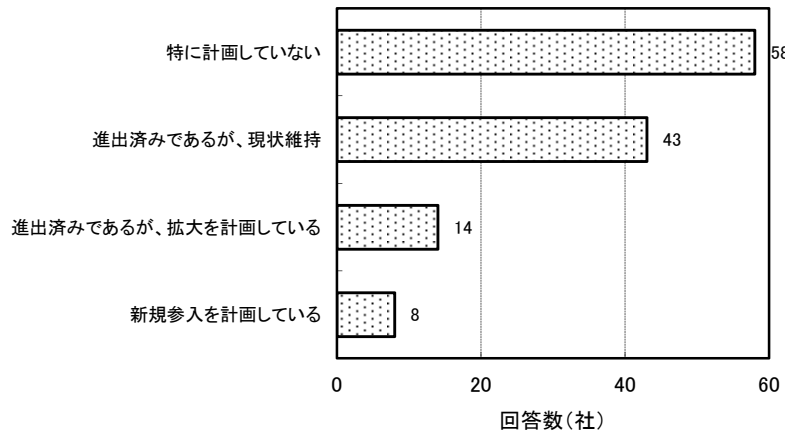
5-7 「オフショア関連の船主・造船所」の主な顧客先  
(複数回答可)



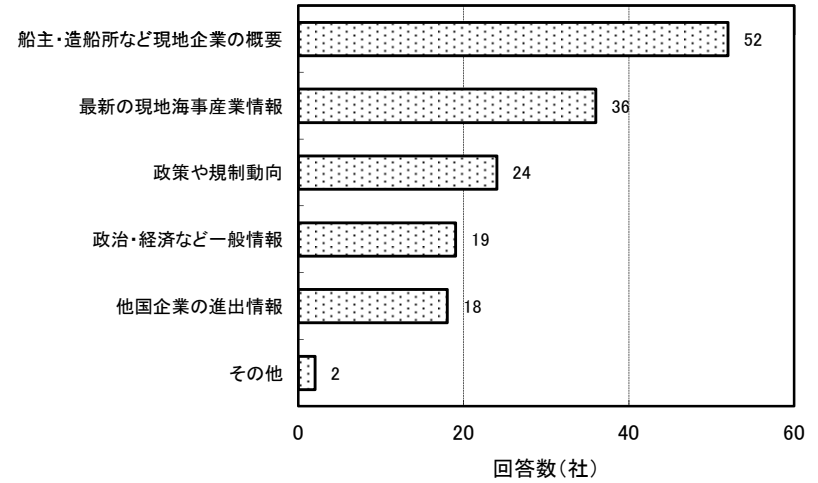
5-8 「漁船」の主な顧客先(複数回答可)



5-9 今後の海外進出計画

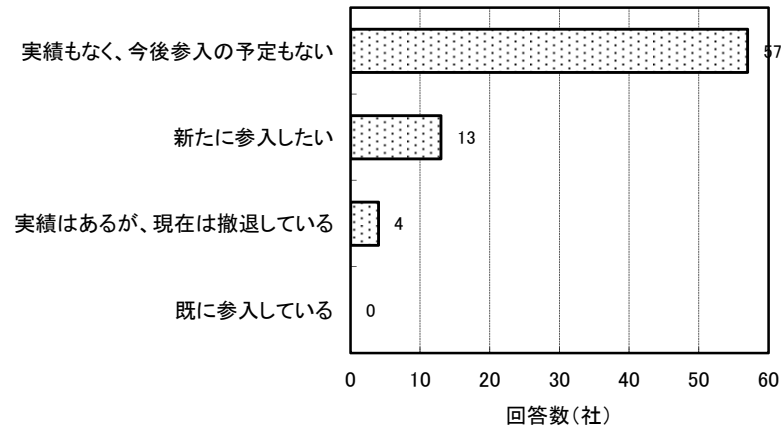


5-10 海外市場開拓に関して必要とする  
海外情報(複数回答可)

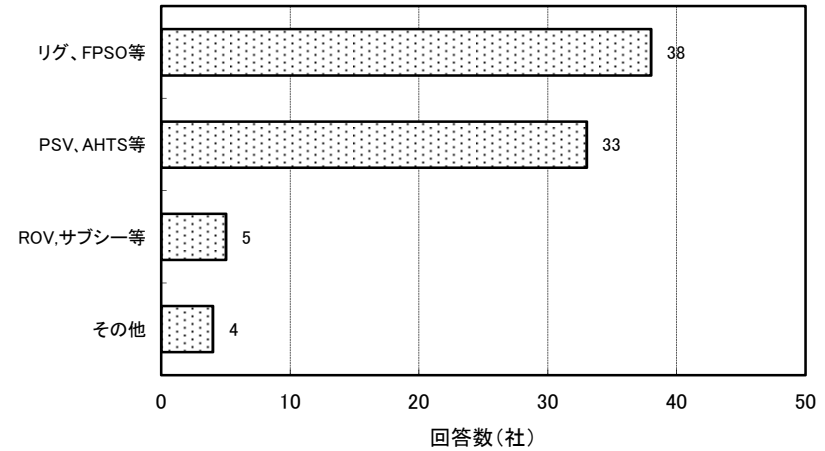


## 6. オフショア関係

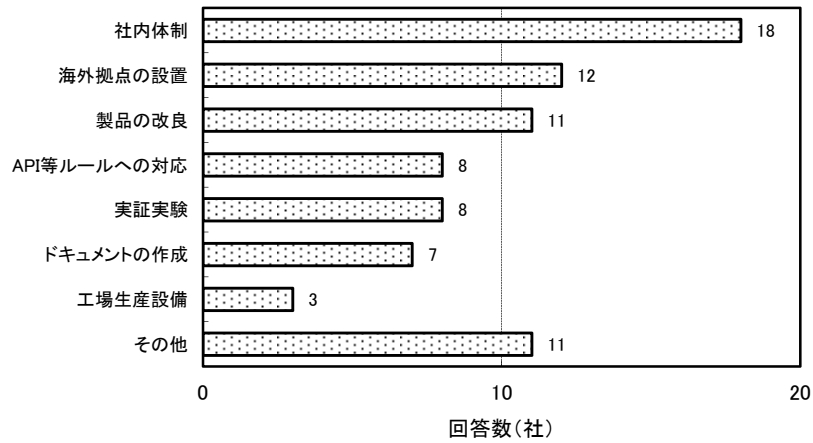
6-1 オフショア分野への参入



6-2 興味のあるオフショア分野(複数回答可)



6-3 オフショア分野参入への障壁(複数回答可)



6-4 オフショア分野の市場開拓のための重要点(複数回答可)

